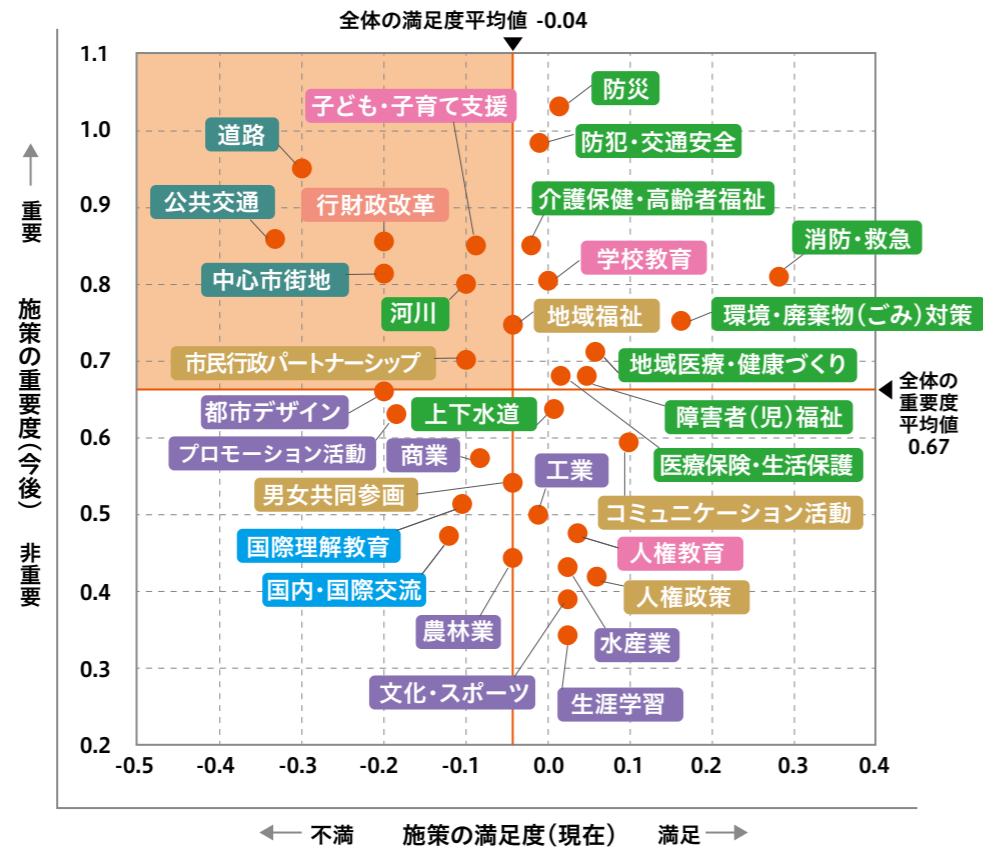


施策の重要度・満足度

「総合計画の7つのビジョンと基本計画の施策分野（32項目）」の「満足度」と「重要度」



左上の枠が、これからもしっかり取り組んでいかなければならない施策なんだね



総合計画7つのビジョン

1. 中央集権型から全員参加型の市政に
2. 命を守ることが最優先
3. こどもを3人育てられるまち
4. 世界に向けて開かれたまち
5. 地理的優位性を活かした元気なまち
6. 桑名をまちごと「ブランド」に
7. 納税者の視点で次の世代に責任ある財政に

施策の満足度を横軸、重要度を縦軸として座標に表すと、満足度が低く重要度が高い領域(優先度が高い領域:上図の左上の網掛け部分)にある項目が、特に今後重点的に取り組むべき施策分野であることを示しています。今回の調査結果では、「行財政改革」「中心市街地」「道路」「公共交通」などが該当しています。

自由記述でいただいた意見（一部抜粋）

- 市民に寄り添う市政を実感したのはコロナ禍初期の水道料金減免です。また飲食店での独自クーポンやPayPayなどでのわが街応援での還元も非常に有り難く、より身近に行政力を実感できた。(50代男性)
- 近場で買い物もでき、静かで暮らしやすさを感じているし、人の優しさを感じる機会も多く、今後も桑名で暮らし続けたいです。(30代女性)
- 地震や津波への対策は、今後も引き続き、重点的に対応してほしいです。(60代男性)
- 行政のDXは積極的に実施すべきだが、スマホやPCを使わない人にも分かりやすくしてほしい。(70代女性)
- 公民連携、支出削減、企業誘致を積極的に行い、財政基盤を強化することが必要だと思う。(30代男性)
- 脱炭素社会に向け、太陽光・風力発電だけでなくこれから出てくるであろうより良い発電方法の活用も検討してほしい。(30代女性)

令和3年度

「桑名市民満足度調査」結果

市では、市民の皆さんの意識や生活スタイルなどを把握し、総合計画にある各施策の進行を確認するため、「桑名市民満足度調査」を実施しました。(前回は平成30年度に実施しました)

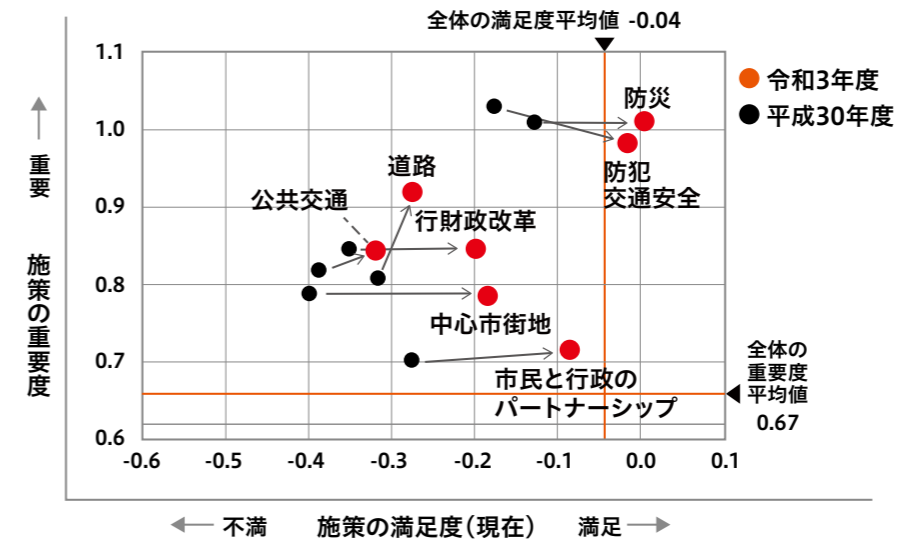
本調査の結果については、平成27年度からスタートした「総合計画」の中に掲げる各施策の見直しや、今後の市政運営、行財政改革の基礎資料として活用していきます。

問 政策創造課 (☎ 24-1463 FAX 24-1412)

前回調査との比較（32項目を調査）

ほぼ全ての施策で満足度上昇！

重点的に取り組むべき施策分野（平成30年度調査との比較）



めざす市の将来像に向け、みんなの思いと一致しているということなんだね。これからもしっかりと進めていこう。



- ◎「中心市街地」「行財政改革」「市民と行政のパートナーシップ」分野は、満足度が上昇しました
- ◎「防犯・交通安全」「防災」分野は、重要度が高く、満足度が上昇しました
- ◎「公共交通」「道路」分野は、施策の重要度が高くなりました

調査の概要

- 調査期間 令和3年9月30日～10月18日
- 調査方法 郵送による配布・回収（インターネットによる回答を併用）
- 調査対象 市内在住の15歳以上の市民3,500人（無作為抽出）
有効回答数：1,422件 有効回収率：40.6%
- 回答者
性別：男性44.6% 女性54.6% 無回答0.8%
年代：20歳未満 4.7% 20歳代 6.4% 30歳代 11.2% 40歳代 16.1%
50歳代 14.5% 60歳代 16.7% 70歳以上 29.5% 無回答 0.9%
- ▷集計は小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。



調査結果の詳細は市ホームページに掲載しています。